



1. 目的と概要

NC工作機械によるコマの切削加工や大学のロゴ形彫刻の実演によって金型に代表されるような日本のものづくり産業の現状を理解してもらう。

2. 実施スケジュール

平成19年 10月 工学部オープンキャンパス

3. 成果の内容及びその分析・評価等

今回も平成18年度のように工学部訪問にきた児童に旋盤でコマを作るようすを見せてあげたかったのだが、訪問がなかったのでできなかった。オープンキャンパスの研究質紹介で旋盤によるコマ作りの様子を掲示し、実際につくったコマを児童にプレゼントした。我々の未来を担う児童がコマを見て、作る様子を説明すると興味を示してくれたので良かったと思う。

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

理科離れが進んでいる時代背景において、児童に興味をもって貰えたと思う。また、本校で行っていることを少しでも知って貰えたのではないかと思う。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

今までは近い年齢や年配の方々との会話が多かったため、知識を吸収することが多かったが、児童と触れ合うことにより、興味をもつ事の大切さや新鮮さと、興味をもって貰うためにはどうしたら良いかを勉強することができた。

6. 反省点・今後の抱負(計画)・感想等

旋盤を使ったコマ作りが、誰の研究内容とも違ったものだったために余裕がなく自分たちの理解度が少し足りなかったように思えた。今後、自分たちは卒業して社会人になるので今回の経験を少しでも生かしたいと思う。また、後輩にも是非続けて貰いたい。

7. 実施メンバー

代表者 大野 翔太 (工学部4年)

構成員 鵜飼 拓哉 (工学部4年)

矢間 克彦 (工学部4年)